

英語を楽しく

No. 105
13, April

☆ 単語一つでも使い方を知ることが大切

○ A 小学校の白鳥校長 Mr Shiratori と学級担任 Mr Machida との会話

Mr Shiratori : Mr Machida, I want you to stay for a while in the teachers' room because I'm going out. (町田先生、出かけるのでしばらく職員室にいてください。)

Mr Machida : I see. Mr Shiratori. But I want you to come back as soon as possible. (わかりました、白鳥校長先生。でも、できるだけ早く帰ってください。)

と町田先生が言った後、白鳥校長は、「なんと常識のない言葉遣いの知らない先生だ。」とあきれてしまった。



「なぜ？」

それは **want** にあります。**want** は、「～してほしい。」という意味の単語ですが、目上の方が目下の人に使う言葉の意義があり、目下の方が目上の人に使う言葉ではありません。ですから、町田先生は、校長に命令することになったからです。では、どう町田先生は言ったらよかったですのでしょうか。それは、

I see. Mr Shiratori. I would like you to come back as soon as possible.
と言えよかったです。

I would like you ~. は 「あなたに～をしていただきたいのですが」というたいへん丁寧な表現をしたいときに使います。

I want to come home. (「家に帰りたい！」という強い気持ちを持っている場合に使う)

I would like to come home. (「家にかえりたいのですが。」と遠慮がちに言う場合に使う)

※ **would**・**should**・**might**・**could** 等のように 過去形の助動詞は文を丁寧・やわらかい印象を与える役目をする。

- You should study English everyday. (毎日英語の勉強をした方がいいよ。)
- We might have caught the bus. (バスに間に合ったかもしれない。)
- Could you pass me the salt? (お塩を取っていただけませんかでしょうか。)

[注] 下の2つの違いに注意してね。

I would like you to 動詞 (私は、あなたに動詞をしてほしい。)

I would like to 動詞 (私が動詞をしたいのですが。)

Yoshi